

【3-2】日常生活支え合い実践事業

幼稚園における地域の方や祖父母との交流づくり

(鯖江市)

基礎情報

実施地域 鯖江市
実施主体 鯖江市鯖江幼稚園
所在地 鯖江市日の出町
代表者 笠川みち子



平成23年度の事業概要

- ・近隣の高齢者や地域の方が交流できる居場所づくりのために、テレビやCDデッキ等の備品を整備。
- ・園に高齢者を招き、伝承遊びや視聴覚教材を利用したリズム体操、歌遊び、読み聞かせ等の事業を開催。

〈地域の高齢者との交流会〉

鯖江地区の高齢者グループ「SBE80」のメンバーを中心として昔遊び、伝承遊びを園児や地域の未就園児親子と共に楽しんだ。

また、折紙遊びや自然物を利用した遊びなど素朴な昔遊びも行った。

〈交流学級〉

地域ボランティア指導によるリズム遊びや園で取り組んでいる伝承遊びを園児の祖父母や高齢者と共に楽しんだ。

またテレビ（BDレコーダー）を通して子ども達の様々な活動の様子を視聴し、会話も弾みゆったりと触れ合って遊ぶことができた。

〈絵本を楽しむおしゃべり会〉

絵本の読み聞かせ実演や本の魅力についての講演を園児と共に楽しむ。

絵本に描かれている絵の魅力を教えていただいた。

現在の活動状況

1～2か月に1回交流事業を開催している。

- ・近隣のお年寄りを招いて、折紙や広告紙の工作を教えてもらったり、一緒に遊ぶ。
- ・園児の家族や、在宅の親子、お年寄りを招いて、幼稚園と保育所合同の夏祭りを楽しむ。
- ・園児と在宅の親子が、地域のお年寄りから伝承遊び遊びを見せていただいたり、一緒に遊んだ後、戦争体験の話聞く。
- ・園児とその祖父母、在宅の親子が、SBE80と一緒に歌や踊りを楽しんだり、昔遊びを一緒に楽しむ。

事業の実績、成果

- ・園児祖父母を通して、地域の高齢者への声かけが徐々に広がりつつある。
- ・一度参加した地域の高齢者は、園に訪問しやすくなったと感じる。
- ・祖父母・高齢者と交流することで、優しい気持ちを感じたり、高齢者を思いやる気持ちが園児に芽ばえてきたと感じる。

工夫した点

- ・近所の方に一人でも多く来ていただくために、園児の祖父母を通して誘っていただくようにした。
- ・イベントを通じての参加を募り、園に来やすい雰囲気づくりをした。



事業の財源

平成23年度地域支えあい体制づくり補助金で備品を購入。
高齢者との交流の運営に必要な教材費は、市予算で対応している。

課題

イベントには来やすいが、通常は迷惑がかかるのではと遠慮される高齢者がいた。
今後は、地域の方へのアピール法を考慮していきたい。
また、地域の方も参加しやすい計画を立てるようにしていきたい。

今後の目標

- ・ イベントを通して、園児、職員と、まず顔なじみなるようなかかわりをするのが地域との結びつきにつながる。
- ・ 地域の様々なネットワークと連携して視聴覚機器を活用しながら、できるだけ日常的に世代間の交流を図っていきたい。

団体からのメッセージ

「子ども達が喜んでくれるので、毎年、楽しみにしています。」

「子どものそばにいられるだけで喜びを感じます。」といった高齢者の方々からのお声に励まされ、今後も園を開放して行きます。

どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

